

兵庫県水産技術センターだより

硝酸塩センサー観測情報 SE-2-01号

2020年12月02日発行

※この調査は調査船に搭載した自動観測センサーを用いて、航行中に硝酸塩（今回は $\text{NO}_3\text{-N}$ と $\text{NO}_2\text{-N}$ の合計値で補正）濃度を測定したものです（比色分析した値ではありません）。海域のDIN濃度の変動状況を見る目安としてご活用下さい。硝酸塩濃度は、概ねDIN濃度と連動しますが、港湾や陸域からの水の影響が及ぶ海域等を中心に、DIN濃度はこの値よりも高い値を示します。

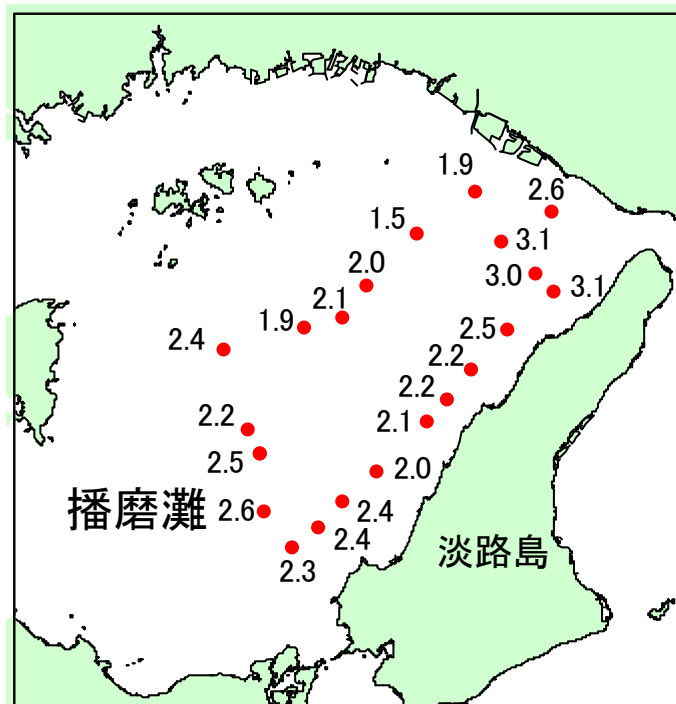
2020年12月1日に播磨灘北西部の海域で、調査船に搭載したセンサーを用いて硝酸塩濃度を観測しました（観測値は補正した値です）。



【概況】

播磨灘東部及び南部海域の硝酸塩濃度は概ね $2\sim 3\mu\text{mol/L}$ でした。明石海峡周辺で比較的高い数値を示していました。

【観測結果】



硝酸塩 ($\text{NO}_3\text{-N}+\text{NO}_2\text{-N}$) 濃度観測値 ($\mu\text{mol/L}$ 、数値は補正していますが目安の値とお考え下さい)

- ・本観測は不定期で実施します。
- ・お問い合わせ先 兵庫県立農林水産技術総合センター水産技術センター（担当：水産環境部）
Tel：078-941-8601、Fax：078-941-8604、Homepage：http://www.hyogo-suigi.jp/

【その他】

DIN（溶存態無機窒素）= $\text{NO}_3\text{-N}$ （硝酸態窒素）+ $\text{NO}_2\text{-N}$ （亜硝酸態窒素）+ $\text{NH}_4\text{-N}$ （アンモニア態窒素）